

★解答はすべて日本語で書くこと。特に漢字表記は正字体(繁体字)または日本の当用漢字体のみを認め、簡体字は減点する。

一 次の文章を読んで、句読点を付けて正確に書き下し文(訓読文)にせよ。

獬者象鼻犀目牛尾虎足生于南方山谷中寢其皮辟瘟圖其形辟邪予舊病頭風每寢息常以小屏衛其首適遇畫工偶令寫之按山海經此獸食鐵與銅不食他物因有所感遂爲贊曰邈哉其獸生于南國其名曰獬非鐵不食昔在上古人心忠貞征伐教令自天子出劍戟省用銅鐵羨溢獬當是時飽食終日三代以降王法不一鑠鐵爲兵範銅爲佛佛像日益兵刃日滋何山不鏟何谷不墮銖銅寸鐵罔有孑遺悲哉彼獬無乃餒爾嗚呼匪獬之悲惟時之悲

(白居易「獬屏贊」より)

二 次の文章を読んで、正確に日本語訳せよ。

却説趙雲自四更時分與曹軍廝殺、往來衝突、殺至天明、尋不見玄德、又失了玄德老小。雲自思曰「主人將甘糜二夫人與小主人阿斗、託付在我身上。今日軍中失散、有何面目去見主人。不如去決一死戰、好歹要尋主母與小主人下落。」回顧左右、只有三四十騎相隨。雲拍馬在亂軍中尋覓。二縣百姓號哭之聲、震天動地、中箭著槍、拋棄棄女而走者、不計其數。趙雲正走之間、見一人臥在草中、視之乃簡雍也。雲急問曰「曾見兩位主母否。」雍曰「二主母棄了車仗、抱阿斗而走。我飛馬趕去、轉過山坡、被一將刺了一槍、跌下馬來、馬被奪了去。我爭鬥不得、故臥在此。」雲乃將從人所騎之馬、借一匹與簡雍騎坐。又着二卒扶護簡雍先去、報與主人「我上天入地好歹尋主母與小主人來。如尋不見、死在沙場上也。」說罷拍馬望長坂坡而去。忽一人大叫「趙將軍那裏去。」

(『三国志演義』第四十一回より)

三 次の①～⑥六つの事柄、書籍、人物について知るところを日本語で述べよ。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ① 仄声 | ② 呂氏春秋 | ③ 目加田誠 |
| ④ 敦煌變文 | ⑤ 孫楷第 | ⑥ 題壁詩 |